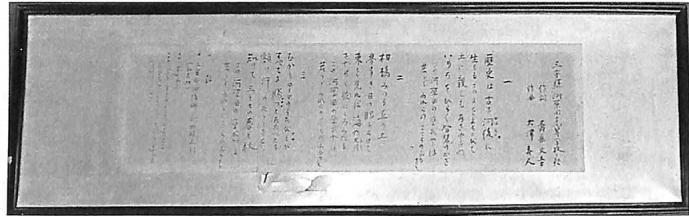


校歌にこめられた願い Ⅲ

三重県立四日市農芸高等学校『創立八十周年記念誌』

二〇一〇年三月一日

野崎 智裕



【校長室の壽岳文章氏直筆 校歌歌詞】

1 プロローグ

農芸高校の校歌は、不朽の名作です。これまで農芸高校生徒の皆さん、教職員、同窓会をはじめとする学校の関係者各位に何かしら裨益するものがあればと考え、農芸高校奉職中に2度拙文を綴りました。その後新たに判明したいくつかの新しい知見を後日譚=Ⅲとして以下に紹介します。(農芸高校生徒会誌『こだち』35号(1994年3月1日刊行)初出文=を「拙文1」と、『こだち』39号(1998年3月2日刊行)初出文を「拙文2」と表記します。)

戦後の占領期における目まぐるしい教育改革が続く中で昭和25年度河原田高等学校(四日市農芸高校の前身)校長であった下河茂嗣氏が、四日市市立中部中学校校長の坂井喜三氏と共に下河校長の年来の知己大塚高信氏(英語学者)<sup>(1)</sup>を介して、壽岳文章氏(英文学者、関西学院大学文学部教授)に校歌の作詞を依頼した。その申し出を受諾した壽岳氏が1950年10月上旬それぞれの学校所在地を来訪したうえで、校歌歌詞を創案する。その後同氏と交誼が深い作曲家の一人大澤壽人氏(音楽家、神戸女学院大学教授)に作曲を依頼して完成した中部中学校校歌楽譜を1951(昭和26)年2月23日に、次いで河原田高等学校校歌楽譜は2月28日に、大澤氏からそれぞれの学校に送られている。

以上が、最新の見解です。

2 大澤壽人氏の演奏記録・創作記録ノート

作曲者の令息大澤壽文氏に見せていただいた直筆の演奏記録・創作記録は、3冊あります。ノートを左右ページに分けて1年ごと月ごとに作品を書き留めたものです。その3冊目のノート(1951年)の2月欄の記載の中に四日市市立中部中学校と河原田高等学校の2校の校歌の名前が確認できました。ほぼ同時期に完成して、作詞者・作曲者は同じ組み合わせであることから<sup>(2)</sup>、兄弟校歌と言ってよいでしょう。

右に記録ノートの該当箇所を本文の体裁のとおりに記載してみます。

この作品群のラインアップにも、伝統音楽・西洋音楽の枠を軽やかに飛び越えて多方面に亘って自在に蓄積された才能を発揮していく創造者の心意気が鮮烈です。<sup>(3)</sup>

近年、この多彩な創作の質の高さ、品格の良さが日本をはじめ世界各国で再認識され新しい関心が喚起されつつあることは、喜ぶべきことです。

大澤 壽人氏 再評価の気運一覧表(一部)【この表は、神戸女学院大学生島先生のご教示による】

ノート裏表	演奏記録 作品記録	
	ノート表ページ	ノート裏ページ
	1951	1951
ノート1頁	正月	2月4日
	2	9
	7	12
	21	17
	27	18日
	10	
	14	
ノート2頁		

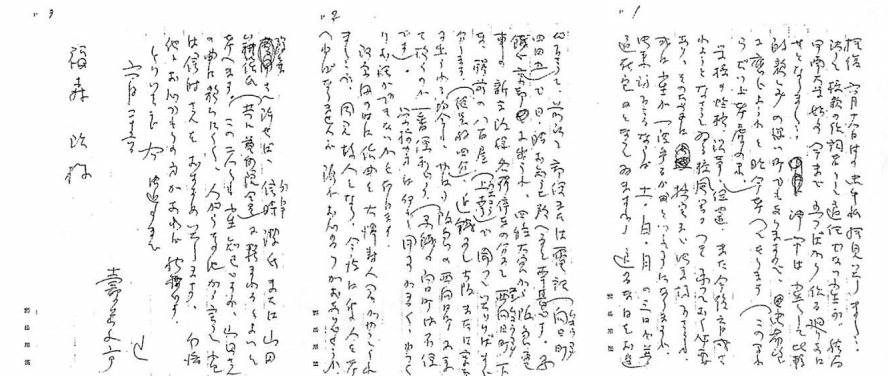
(大澤 壽人氏 再評価の気運(一部)一覧表 この表は、神戸女学院大学生島先生のご教示による)

事項	内容	年月	
1	演奏会をNHK教育テレビにて放送	ピアノ協奏曲第3番	2003年3月
2	演奏CD発行	ピアノ協奏曲第3番 変イ長調	2003年4月
3	楽譜刊行	ピアノ協奏曲第3番 変イ長調	2004年5月
4	演奏CD発行	ピアノ協奏曲神風協奏曲・交響曲第3番	2004年6月
5	作品資料目録刊行	煌きの軌跡 刊行	2007年12月
6	演奏CD発行	大澤 壽人の室内楽	2007年12月
7	演奏をNHKFMラジオにて放送	トランペット協奏曲 第3楽章	2007年12月
8	演奏CD発行	ピアノ協奏曲第2番・交響曲第2番	2007年
9	演奏CD発行	トランペットジャポネスク	2009年1月
10	ドイツ・ディッセルドルフで演奏会	ピアノ協奏曲第3番 変イ長調	2009年3月
11	ABCラジオで再放送	作曲したホームソング	2009年10月
12	秀作の再演 演奏会	大澤壽人スペクタクルⅠ	2009年12月
13	秀作の再演 演奏会	大澤壽人スペクタクルⅡ	2010年3月

3 壽岳 文章(ぶんしょう)氏の手紙

大澤壽人氏が作曲者に決まる背景を推測させる昭和30年6月26日付の壽岳氏直筆の手紙<sup>(4)</sup>の後半部分を以下に引用します。

「(前略)河原田の時は作曲を大澤 壽人君がやってくれましたが、同君故人となり、今後は他の人を考えねばなりません、誰かお心当たりがおありでしょうか。県費さえ許せば、信時 潔氏<sup>(5)</sup>または山田 耕彦氏(共に芸術院会員)に頼まれると良いでしょう。(下略)」(傍線は筆者)



【『寿岳用箋』名が入った便せん3枚』の手紙】

この手紙と同年9月のもう1通を総合すると、当時の壽岳氏の校歌制定までのプロセスは、高校の校長先生が、さまざまな人脈を通じて、作詞を依頼してくる。作詞を受諾するとほぼ同時期に作詞者に近い作曲家が選ばれ、ペアになる。壽岳氏が直接学校を訪問するか、校長先生が京都府向日市の壽岳氏宅を訪問して学校・生徒の様子を説明し、歌詞を練っていく。完成した校歌歌詞を作曲者に送り、作曲が開始される。そして、歌詞の成案は「校名 作詞 壽岳 文章 作曲 大澤 壽人 1番の校歌歌詞 2番の校歌歌詞 3番の校歌歌詞 ことばの注釈」と続く体裁に仕立てて清書し、当該学校に贈る、という

す。(6) (付記：農芸高校校長室には、金地の紙に壽岳氏直筆の校歌歌詞が額装されて現在も飾られています。)

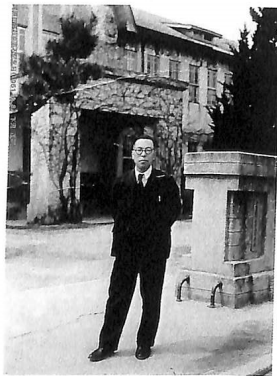
#### 4 下河校長先生の素心、あるいは教育者としての志のこと

先に2つの校歌を兄弟校歌と呼んでみましたが、河原田高校に着任される前には、戦前に旧制木本高校校長、桑名中学校長を、戦後は四日市北部中学校長と校長職を歴任されてみえました。(7)昭和28年5月員弁高校校長在職中に永眠され、1周忌にあたり親友でもあった大塚高信氏が編まれた追悼文集(8)から浮かんでくるその人となりは、公務のあとに、数多の英語参考書・問題集の執筆に励む。好物は「饅頭」。「煙草」をよく吸い、基敵たちと夢中で「囲碁」を打つ。病院出産ではなく、自宅出産が普通とされていた昭和のこのころ、お孫さんが生まれる時に階下で右往左往するなど豊かな個性と人間性が垣間見える一方で、職責の自覚は深く、凜としてみえました。拙文1に引用した河原田高校校長時代の生徒の学校生活への親身な言及に加え、校章や校歌を備えるよう図る。(拙文1参照)桑名中学校長時代は、終戦直前の時期に、空襲で校舎が全焼、深夜の火事場に駆けつけ、重要書類・写真影を運び出そうとして、全身に大やけどを負う。自宅も焼失の憂き目に遭うも、校舎再建と授業場所の確保に三重県、桑名市に陳情を繰り返せし、早期の授業再開に尽力されたことが知られています。さらに、息子さんたちにも「どんな苦しい時代でも人は強く、たくましく生きなければならぬ。人は年齢に応じて責任を負う。責任の前には身を挺して当たれ。努力すれば道は必ず開ける。」と折々に語ってみえました。(9)

[下河津一氏提供。1951年4月8日 離任の日 当時の校舎正門前にて撮影される。写真裏面には、河原田高等学校を去る日の記念に1951年4月8日 シゲツグ シモカワと自筆サインがあります。]



下河 茂樹 1953年5月5日撮影 享年65歳



In memory  
of  
leaving Kawada  
High School  
Apr. 8, 1951  
Shigetaka  
Shimokawa

#### 5 エピローグに代えて ～校長先生・作詞者・作曲者の遺徳の広がり～

拙文1にあげた下河校長先生が英語教師としてまとめた数多くの英語参考書の1冊『イソップの話』(泰文堂)は、その後、ご遺族や県下各高校や公立図書館も訪ね、古本業界などに糸口を求めましたが、未見のままです。命がけで守ろうとされた桑名高校は、本年(2009年)創立100周年の記念式典を迎えます。また、下河校長先生在任中に民主的な手法で制定された校章と校歌を今も受け継ぐ農芸高校は、ISO14001認証取得校となり、「みのりの丘 グリーンパーク」と称し、環境に配慮した「学校公園化」を推進中で、役員すべてが立候補者で地域とつながる姿勢が高く評価されて文部科学大臣表彰を受ける

こととなったPTA活動も特筆されるべきことでしょう。さらに、員弁高校は、木本高校とともに総合学科を擁するいなべ総合学園になって、その広大な敷地の中の立派な校舎と諸施設に来校者は誰しも目を見張ります。

作詞者・壽岳氏は、氏の代表作ダンテ神曲の大部な翻訳書が、集英社文庫ヘリテージシリーズに収録され、3冊それぞれに最適解説者と関係エッセイが添えられて新たな読者を獲得しています。帯の文言「美しくかつ宗教家としての慈愛に満ちた 壽岳文章 畢生の完訳」は、この書物の本質を衝いた至言です。また、練成された美しい日本語が輝く校歌歌詞の大本になっている若い世代への思いは、長女・章子氏の少女時代の日記に添えた「人生の花園に禁圧の制札や荒唐があつてはならない。何の屈託もなく、思い切り自分をのばせ。右顧左眈せず、正しいと思うことは率直に言え」のブレイクの信条(10)にもよく現れています。



【壽岳氏の代表作『神曲』3冊そろい 集英社文庫版】

作曲家・大澤氏については、近く「戦前欧米を舞台に活躍した作曲家、大澤壽人(おおさわ ひさと、1906-53)。没後忘れられていたこの作曲家が近年“発掘”されて以来、「当時の日本にこれほどの作曲家がいたとは！」と話題を呼んでいます。自作・編曲併せて800曲以上を創作した大澤は、自筆総譜を中心に2万枚を超す膨大な資料を遺し、これらは遺族からかつて教鞭をとった神戸女学院に寄贈されました。この公演では資料整理と目録編纂にあたった神戸女学院出身の若手演奏家を中心となり、2008年度音楽クリティック・クラブ特別賞を受賞した『煌きの軌跡—大澤壽人作品資料目録—』をもとに、大澤の生涯と音楽をレクチャーをまじえて紹介します。」と銘打って本格的な作曲作品再演の試みが始動しています。(11)

ところで、昭和5年に卒業した関西学院高等商学部の同窓会会報には、自宅10畳の日本間いっばいを洋風に仕立てた仕事部屋で浴衣がけで同窓会のインタビューに答える記事が掲載されています。(12)肉声を聞いているような好個の記録です。

インタビューをQ、大澤さんの発言をAとして、主要な箇所を引用します。

Q 「音楽の勉強はいつから？」

A 「中学時代からルーチン、ヴェラヴェルティ氏等に習っていました。学院を卒業後は、ボストン大学のスミス教授に招かれて渡米、ボストン大学とニューイングランド・コンサヴァトリに学び、有名な作曲家コンパース博士、マーシャル博士、ロビンソン、スミス教授の御指導を受けて、1932年 パチェラー・オブ・ミュージックの学位を受けました。その間、元駐日大使フォープス氏等の後援で数度自作品のリサイタルをし、またラジオを通じて数回作品発表をしました。日本人で今のところ世界一のボストン・シンフォニーを指揮したのは僕一人です。欧州へ渡ってから

はバリで2年、ブランジェ、故デウカの門に入って作曲を認められ、1935年パドルー管弦楽団、ジルマルシェックス、クレンコー夫人の援助と駐仏佐藤大使の後援で、欧米に日本人初の作曲家、指揮者として発表会をしましたが、当夜の音楽会はラジオで全欧州に中継放送されたんです。」

Q 「今お作りになっているのは？」

A 「時節柄（注：戦前 昭和12年ごろのこと）戦争をテーマにしたものです。毎日2、3枚ずつ、そうですね、演奏時間にして45秒でしょうか。それを1日四苦八苦して作るんだからつらい商売ですよ。これだけを作り出す時間で流行歌なら4、5曲できるでしょうね。しかも流行歌とちがって私の作るような曲は売れないし、発表しても千人のうち1人か2人にしか解ってもらえない。ベートーベンの苦しみですね。日本の作曲家たちはみんなシュトラウス。いや、それ以上に大衆に媚びて、誰一人として真剣に音楽と組打つものはない。あちらに居る時にはよく勉強しました。毎日2時間位の睡眠時間で1週間ぶっ続けて作曲したことがあります。日本ではダメですね。僕以外に誰も作曲をする人がない。もちろん流行歌などがありますがね。張り合いがありません。計画だけしてるんですが、来年あたりもう一度渡米してあちらで発表して大いに日本の為にと張り切るつもりです。」

A 「この間PCLの文化映画の作曲を2本しましたが、これなんかたった2日で作りました。それもぶっ続けて朝からかかって夜が来て、朝になってまた夜が来て、そして夜が明けてしまった。知らず知らずの裡に48時間を作曲に過ごしたのですね。」

A 「今のところ大阪と東京で年2回発表会を開くことにしていますが、自分の曲だけを年2回も発表する人は欧米にもないでしょうね。」

およそこのような3人の至人の思いの丈が込められた校歌は、竹尾泰農芸高校校長先生のお話によれば、今も卒業式などの学校の1年の大事な節目の行事の際に加えて、ラグビー部が花園への出場をかけて戦う県営鈴鹿スポーツガーデンでの県大会決勝戦や、野球部の夏の地区予選大会で球場に卒業生も加わる大応援団が参集するような機会に、吹奏楽部の生演奏に乗せて生徒たちが心を通わせて親しく歌う姿が見られるようです。

いくつもの縁が重なって成った校歌は、下河校長先生の使命感と次世代育成への情熱、豊かな日本語の使い手の壽岳氏の絶妙なことばのセンス、東洋も西洋も音の神髄を極め会得した作曲家大澤氏の超絶技巧がほどよく調和していて、今も愛唱され、この河原田の学びやを、こころのふるさととする若人たちを育む糧としてこれからも末永く歌い継がれていくことでしょう。

(2009年11月吉日稿了、文責 桑名高等学校教諭 野崎 智裕)

(付記：今回の拙文をまとめる際に、下河津一氏（下河校長先生ご三男）、大澤壽文氏、神戸女学院大学の生島美紀子先生、桑名高校学校評議員 西羽晃氏（下河津一氏と桑名高校で同級生）から懇切なご教示をいただきました。記して、深く感謝申し上げます。)

脚注 (1) 『固有名詞英語発音辞典』（三省堂）の編者は、大塚高信氏と壽岳文章氏が名を連ねている。大塚氏はのちに驚異的な熟語数五万六千を収録し、全てに用例をつけて、熟語の生態を余すところなくとらえ示した、わが国はじめての本格的熟語辞典として知られる『新クラウン英語熟語辞典 第3版』も編纂されている。



(2) 拙文2 p90・91

(3) 「大澤 壽人 ～戦前欧米に響いた才能～」『ひと萌ゆる』（神戸新聞総合出版センター、2001年12月刊行、p272。）

(4) 津東高校同窓会所蔵 昭和30年6月26日付け 福森校長先生宛書簡

(5) この方も、近年その業績の正当な再評価が進みつつある。県内の津高校・神戸高校・四日市工業高校・上野高校、四日市市立塩浜中学校、同笹川中学校などの校歌の作曲者でもある。(令孫 信時裕子氏の開設したサイト＝「信時 潔研究ガイド」参照のこと。)

(6) 『三重桜』（津東高校創立30周年記念誌、昭和58年10月刊行）p28・29

(7) 旧制中学校校長から新制中学校長への異動は、関係者の間でも「異例」と認識されている。(『四日市市教育百年史』p833、昭和57年3月刊行) おそらくは、この時期に校長会などで親しくなった中部中学校長の坂井氏と歩調を合わせて、壽岳氏に依頼することとなったと思われる。(現在の中部中学校長の鈴木一良氏のご教示によると、坂井氏は、御在所岳を油絵で描くなど洋画が得意な美術教師でいらっしゃったそうです。)

(8) 『偲ぶ草 下河 茂嗣追想録』（泰文堂、昭和29年5月5日刊行)

(9) 下河茂朗氏（下河校長先生ご長男）・下河津一氏「下河 茂嗣を語る」（『桑高100年～三重県立桑名高等学校100周年記念誌～』2010年2月刊行）所収、下河校長先生の桑名大空襲時の危機管理の姿は、現在の桑名高校生徒にも語りかけられた。(『桑高にも戦争があった!』「桑高百年」第五号、2007年11月12日全校生徒配布の記事)

(10) 壽岳 章子著『過ぎたれど去らぬ日々』（大月書店、1981年8月刊行）p246

(11) 大澤壽人スペクタクルⅠ・Ⅱ公演パンフレット、(2009年8月)より

(12) 『高商同窓会報』第20号（昭和12年9月27日刊行）p46・p47、脚注(2)の「大澤 壽人 ～戦前欧米に響いた才能～」を綴った神戸新聞記者・藤本賢市氏のご教示による。

＜フェニックス・エブゾリューション・シリーズ Vol.56＞  
**HISAO OSAWA**  
 神戸女学院所蔵資料「大澤寿人遺作コレクション」による  
**大澤壽人 スペクタクルⅡ**  
 【トランペット協奏曲 60年ぶりの関西録音（ピアノ伴奏版）】  
 Program  
 1. トランペット協奏曲  
 2. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 3. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 4. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 5. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 6. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 7. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 8. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 9. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 10. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 11. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 12. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 13. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 14. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 15. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 16. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 17. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 18. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 19. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 20. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 21. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 22. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 23. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 24. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 25. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 26. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 27. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 28. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 29. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 30. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 31. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 32. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 33. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 34. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 35. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 36. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 37. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 38. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 39. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 40. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 41. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 42. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 43. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 44. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 45. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 46. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 47. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 48. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 49. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 50. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 51. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 52. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 53. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 54. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 55. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 56. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 57. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 58. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 59. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 60. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 61. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 62. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 63. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 64. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 65. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 66. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 67. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 68. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 69. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 70. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 71. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 72. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 73. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 74. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 75. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 76. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 77. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 78. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 79. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 80. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 81. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 82. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 83. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 84. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 85. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 86. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 87. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 88. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 89. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 90. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 91. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 92. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 93. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 94. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 95. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 96. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 97. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 98. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 99. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 100. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 101. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 102. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 103. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 104. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 105. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 106. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 107. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 108. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 109. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 110. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 111. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 112. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 113. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 114. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 115. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 116. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 117. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 118. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 119. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 120. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 121. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 122. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 123. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 124. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 125. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 126. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 127. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 128. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 129. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 130. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 131. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 132. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 133. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 134. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 135. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 136. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 137. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 138. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 139. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 140. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 141. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 142. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 143. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 144. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 145. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 146. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 147. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 148. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 149. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 150. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 151. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 152. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 153. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 154. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 155. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 156. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 157. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 158. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 159. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 160. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 161. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 162. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 163. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 164. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 165. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 166. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 167. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 168. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 169. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 170. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 171. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 172. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 173. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 174. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 175. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 176. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 177. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 178. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 179. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 180. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 181. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 182. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 183. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 184. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 185. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 186. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 187. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 188. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 189. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 190. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 191. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 192. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 193. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 194. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 195. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 196. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 197. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 198. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 199. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 200. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 201. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 202. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 203. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 204. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 205. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 206. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 207. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 208. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 209. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 210. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 211. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 212. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 213. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 214. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 215. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 216. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 217. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 218. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 219. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 220. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 221. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 222. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 223. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 224. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 225. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 226. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 227. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 228. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 229. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 230. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 231. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 232. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 233. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 234. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 235. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 236. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 237. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 238. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 239. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 240. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 241. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 242. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 243. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 244. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 245. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 246. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 247. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 248. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 249. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 250. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 251. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 252. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 253. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 254. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 255. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 256. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 257. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 258. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 259. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 260. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 261. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 262. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 263. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 264. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 265. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 266. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 267. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 268. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 269. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 270. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 271. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 272. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 273. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 274. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 275. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 276. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 277. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 278. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 279. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 280. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 281. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 282. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 283. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 284. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 285. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 286. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 287. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 288. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 289. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 290. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 291. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 292. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 293. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 294. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 295. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 296. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 297. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 298. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 299. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 300. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 301. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 302. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 303. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 304. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 305. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 306. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 307. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 308. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 309. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 310. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 311. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 312. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 313. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 314. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 315. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 316. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 317. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 318. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 319. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 320. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 321. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 322. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 323. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 324. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 325. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 326. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 327. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 328. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 329. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 330. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 331. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 332. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 333. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 334. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 335. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 336. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 337. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 338. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 339. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 340. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 341. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 342. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 343. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 344. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 345. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 346. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 347. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 348. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 349. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 350. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 351. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 352. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 353. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 354. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 355. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 356. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 357. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 358. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 359. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 360. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 361. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 362. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 363. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 364. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 365. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 366. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 367. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 368. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 369. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 370. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 371. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 372. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 373. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 374. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 375. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 376. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 377. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 378. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 379. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 380. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 381. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 382. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 383. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 384. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 385. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 386. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 387. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 388. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 389. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 390. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 391. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 392. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 393. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 394. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 395. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 396. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 397. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 398. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 399. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 400. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 401. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 402. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 403. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 404. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 405. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 406. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 407. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 408. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 409. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 410. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 411. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 412. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 413. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 414. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 415. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 416. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 417. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 418. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 419. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 420. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 421. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 422. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 423. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 424. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 425. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 426. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 427. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 428. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 429. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 430. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 431. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 432. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 433. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 434. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 435. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 436. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 437. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 438. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 439. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 440. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 441. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 442. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 443. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 444. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 445. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 446. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 447. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 448. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 449. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 450. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 451. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 452. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 453. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 454. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 455. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 456. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 457. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 458. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 459. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 460. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 461. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 462. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 463. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 464. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 465. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 466. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 467. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 468. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 469. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 470. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 471. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 472. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 473. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 474. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 475. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 476. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 477. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 478. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 479. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 480. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 481. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 482. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 483. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 484. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 485. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 486. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 487. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 488. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 489. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 490. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 491. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 492. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 493. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 494. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 495. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 496. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 497. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 498. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 499. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 500. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 501. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 502. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 503. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 504. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 505. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 506. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 507. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 508. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 509. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 510. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 511. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 512. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 513. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 514. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 515. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 516. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 517. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 518. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 519. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 520. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 521. 大澤壽人作曲のクラシック音楽  
 522. 大



「作曲者の2枚の写真と校歌生楽譜は、  
いずれも神戸女学院所蔵『大澤 壽人コレクション』より。」

三章 河津日吉校歌

三章 神戸女学院校歌

作曲 大澤 壽人  
作詞 大澤 壽人

